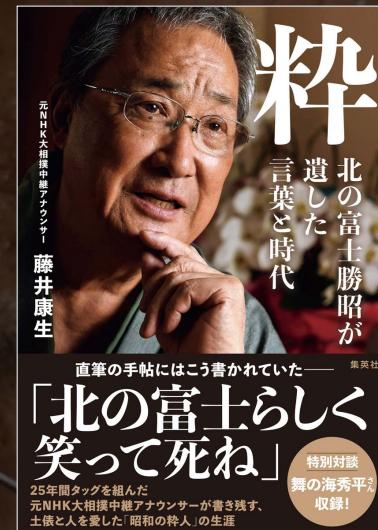


# 大相撲春場所の思い出



ナカノシマ大学2026年3月講座

大阪の「春」は大相撲から!



左／2022（令和4）年1月20日（大相撲初場所12日目）、藤井康生さんの大相撲中継最後の日に、解説の北の富士さんと。これが最後のツーショットになった（写真提供／藤井康生） 上／藤井さんの最新刊『粹 北の富士勝昭が残した言葉と時代』（集英社／税込1,980円）はナカノシマ大学当日、会場でも販売

3/6(金) 17:00~18:40

会場 大阪府立中之島図書館（3階多目的スペース）

受講料 3,000円（大学生以下1,500円）※学生証を提示 定員 100名

講師 藤井康生（元NHK大相撲中継アナウンサー）

主催 大阪府立中之島図書館（指定管理者ShoPro・長谷工・TRC共同事業体）

企画協力 ナカノシマ大学事務局（株式会社140B）

大相撲実況アナの第一人者が、放送席での「名コンビ」の日々を語ります

今回の講師は、長年NHK大相撲実況アナウンサーの「顔」であった藤井康生さんです。

かつて藤井さんの隣には、陽気なトークで圧倒的な人気を誇った解説者の北の富士勝昭さん（1942～2024）がいて、二人の実況は相撲のファン層を大きく広げました。北の富士さん亡き後、藤井さんは著書『粹 北の富士勝昭が残した言葉と時代』を昨年秋に発刊し、短期間で重版となっています。

当日は、「優勝10回の横綱」「2横綱を育てた名親方」、そして「サービス精神旺盛な名解説者」としての北の富士さんの魅力と、春場所の思い出や二日後に始まる今場所の展望をあの声で語っていただきます。

〈講師からのメッセージ〉

大相撲史にその名を刻んだ北の富士勝昭さん。その生涯には「粹」が散りばめられていました。横綱、親方、そして解説者としての華やかな人生。言葉はウイットに富み、併まいや行動にも颯爽たるものがありました。私自身、これほど粹な人に出会ったことはありません。令和6年11月、残念ながら北の富士さんは旅立ちましたが、その声は今でも私の脳裏に焼き付いています。

40年ほどお付き合いいただいた北の富士さんの魅力や思い出と、大阪場所の歴史や見どころをお話します。

ふじい・やすお 1957年岡山県倉敷市出身。79年4月に日本放送協会（NHK）に入局し、大相撲は84（昭和59）年7月場所から約38年間担当。競馬や水泳、大リーグ、オリンピックの実況中継でも「名場面」に花を添える実況で人気を博した。2022年1月にNHKを退局。現在はフリーアナウンサーとして「ABEMA大相撲LIVE」で実況を担当。公式YouTube「藤井康生のうっちやり大相撲」配信中。著書に「粹 北の富士勝昭が残した言葉と時代」（集英社）、「大相撲中継アナしか語れない 土俵の魅力と秘話」（東京ニュース通信社）など。



講師の藤井康生さん  
©森木聰子

→受講申込は、こちらのQRコードからナカノシマ大学のWEBで受付します。



粹な男、北の富士勝昭と